

発 言 通 告 書

発言者氏名	高橋英昭
発言の会議	令和元年 8月30日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

1 人口減少対策について

- (1) 本市の人口減少に対する現状の認識と取り組みの方向性をお聞きする。
- (2) 市長が目指す「誰も一人にさせないまち」と同じ熱量を持って、少子化対策にも取り組むべきと考えるがいかがか。
- (3) 少子化対策について
 - ア 少子化対策に資する全ての施策の結果検証から、次のアクションまで総合的に検討する場として、(仮称)少子化対策推進本部をつくる必要があると考えるがいかがか。
 - イ 少子化対策をより実効性のあるものにするには、現実的な目標から見える課題に対し施策を講ずる必要がある。曖昧なところもある合計特殊出生率による目標値のみではなく、現実的な出生数を目標値に加えて「横須賀ベイビー2,000人プロジェクト」を始動させてはいかがか。
 - ウ 出生数をふやすには、本市に住む女性をふやすことが必要だ。本市で起こっている雇用のミスマッチによる流出を防ぐためにも、働く女性に着目し、女性が多く働く企業を狙って企業誘

致を進めてはいかがか。

エ YRPの一番館に、コールセンターなど、女性が多く働く企業等を誘致してはいかがか。

2 行政改革について

(1) 事務事業等の総点検について

ア 日々あるいは週ごとや月ごとに行う事業の振り返りや、事業における課題などを記録し、年間でまとめ、事業に対する評価や効果の見える化だけでも毎年実施することはできないか。

イ 4年に1回の実施というサイクルで、果たして職員の事業評価に対するスキルは向上するのか。評価基準や人材育成の観点からも「事務事業等の総点検」のあり方そのものを大きく見直しをしてはいかがか。

(2) 日常業務における効率化や改善などの取り組みについて

ア 個々の業務を細かく洗い出し、見える化することによって、改善すべきポイントを見つけ、改善をしていき、これを積み重ねることによって事業の効率化を確実に図ってはいかがか。

イ 個々の事業を見える化するための専任チームを新たにつくるなど、体制を強化し、攻めの行政改革をスタートさせてはいかがか。